

特定非営利活動法人 ポラリス



2022年度 事業報告書
2022年4月1日～2023年3月31日

2022年度を振り返って

ポラリス設立から8年が経ちました。今年度もおかげさまで、“共に学び、共に生きる”をテーマとした「山元こぐまサロン」を継続し実践させていただきながら、地域の皆さんとの新たなつながりを増やすことができ、ポラリス一同、うれしい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度は、この「山元こぐまサロン」を町の社会教育施設をお借りして取り組むのと同時に、今年度当団体が新たに整備をスタートした「ひろばポラリス」にて開催させていただきました。

そして、待ちに待った動くコミュニティ「屋台ポラリス」の活動もはじまりました。

「ひろばポラリス」は、ハードとソフトの両面の整備を進めるために、助成金・支援金などの応援をいただきながら、まずは地域の皆さんに「ひろばポラリス」を知ってもらうためのアート展の開催や花壇づくりなどに取り組んでみました。

更に、平日に加え土曜日もひろばをオープンして、ゆったりとみんなでご飯を食べたり、ワークショップなどを開催して楽しく過ごせる居場所づくりを実践したところ、休日の居場所のニーズは障害者に限らず予想以上に高いと感じました。

「屋台ポラリス」は、フレスコ山下駅前店の壁画「ハッピーやまのもと」前広場や、新市街地エリアのつばめの杜西区集会所、高齢者施設の庭「風の章ガーデン」、大條家菩提寺である「徳本寺」に屋台を運び、屋外の開放的な雰囲気、地域のいろいろな人とコーヒーを飲みながら交流することができました。

このような私たちの取り組みを、東京、奈良、岐阜などで紹介させてもらうことができました。奈良市の

(財)たんぼぼの家「GoodJob!Travel MIYAGI 2022」では最初のツアー先として「山元町を巡る旅」を企画していただき、全国から来てくださった皆さんをご案内することができました。ツアーに参加し山元町を訪ねてくださった中村陽一先生（社会デザイン学会会長）がパーソナリティをつとめるラジオ番組「おしゃべりラボ しあわせソーシャルデザイン」にも出演させていただき、ポラリスの取組みを「ソーシャルデザイン」として、全国に紹介することができました。

山元町は東日本大震災の被災から12年が経ち、過疎が進んでいます。マンパワーも、社会資源も多くはありませんが、顔の見える関係づくりができることに可能性があると思います。被災を経験した地域だからこそ我が事として「誰一人取り残さない町づくり」をベースに、“しなやかでやさしい文化のある町”を共創していけたらと願い、当団体はその道標となる活動を問い続け、できることに取り組んでいきたいと思っています。

今年度は、設立当初から「地域とこんな関わりを持てようになりたいね。」と思い描いてきたことが、実現するようになってきていて、胸が熱くなることがたくさんありました。本当に、本当に、ありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。



2023年3月

特定非営利活動法人ポラリス
代表理事 田口 ひろみ



目次

02	2022年度を振り返って
04	障害者就労継続支援B型事業
05	・地域全体をフィールドに はたらく・たのしむ・まなぶ
06	・地域の担い手となって はたらく
07	・JR山下駅ピカピカ大作戦 （地域をきれいにする取り組み）
07	・アートは地域とつながる接着剤 その1「アートのお仕事」
	・風の章ガーデン （サービス付き高齢者住宅のお庭のハーブや樹木の手入れ）
08	「ひろばポラリス」整備（みんなの学び場「ひろばポラリス」整備事業）
09	・アートは地域とつながる接着剤 その2「ひろばポラリス」
10	・障害のある人となない人が共に取り組む地域づくりプロジェクト
11	・「土曜ひろばポラリス」による休日の居場所&相談の場づくり
12	山元町障害者地域生活支援体制整備事業
13	「山元こぐまサロン」を活用した障害者の学びの場共創プロジェクト2
14	・山元こぐまサロン名場面集
15	・山元こぐまサロン特別編 「お茶室のことを知って、みんなに話せるようになろう！」
16	・令和4年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣奨励賞 受賞
17	専門家招聘による福祉サービスのリスク管理体制整備と強化
18	特急ひたちで行こう！ハワイアンズ&アクアマリンへのたび ろばのジャムさんとの交流&スローバックスでの読書会
19	お客様 / 視察研修
20	活動を紹介しました
21	公営住宅を活用したグループホームの準備をすすめています
22	ご支援をありがとうございました
23	法人運営 / 組織概要
裏表紙	ポラリスを応援してくださる方へ（会員募集&寄付のお願い）

就労継続支援B型事業

事業開始年月日 2020（平成27）年8月1日
 利用者定員 20名
 従業員数 管理者/サービス管理責任者1名（兼務）
 職業指導員 4名（常勤専従1・非常勤専従3）
 生活指導員 1名（常勤専従）
 目標工賃達成指導員 1名（常勤専従）

通所状況

年度	開所 日数 (日)	利用 登録者 (名)	のべ 利用者数(名)	1日平均利 用者数(名)
2015(H27)	174	16	1,438	8.3
2016(H28)	291	22	3,006	10.3
2017(H29)	278	22	3,206	11.5
2018(H30)	284	23	3,570	12.5
2019(R 1)	269	21	3,516	13.1
2020(R 2)	259	21	3,527	13.6
2021(R 3)	269	22	3,736	13.9
2022(R 4)	293	18	3,651	12.5

	利用 登録者数 (名)
山元町	12
亘理町	2
岩沼市	3
柴田町	1
計	18

支援の目標

○利用者それぞれが目指す「就労」のカタチで、素敵にはたらくように。
 ○感染症予防のための「いつもの習慣づくり」と体力維持・向上の心がけ、地域で安心して暮らせるように。

主な活動

- 施設外就労
- オリジナルコーヒー焙煎・販売
- アートワーク（アトリエ活動）
- 地域参加
- 事務業務トレーニング
- 生活訓練



フレスコ山下駅前店 ハッピーエコプラザ
再スタート



GRAイチゴワールドでの施設清掃作業

就労継続支援B型事業												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設外 就労	㈱GRAイチゴワールド 清掃・箱折り、ランナー取り、他											
	山元町つばめの杜中央公園外1施設トイレ清掃作業											
	新地スマートエナジー㈱ 新地エネルギーセンター 清掃											
	フレスコ㈱（ハッピーエコプラザ 資源物回収）											
	㈱ひまわりケアシステム 風の章ガーデン 植栽管理											
	花の店しなほり 生花の搬入・搬出											
		(福) 静和会 みやま荘 清掃										
								稱名寺清掃				
コーヒー	ポラリスコーヒー（豆ピック ブ 焙煎 計量 袋詰め ハンドドリップ 販売）											
アート 活動	見晴 作品展示 (春～夏)							見晴 作品展示 (秋～冬)				
	・作品制作 ・展示 ・販売 ・ワークショップ ・アトリエ案内											
地域参加	山元こぐまサロン（生涯学習）											
	ひろばポラリス （地域交流活動）											
	屋台ポラリス （地域交流活動）											
	地域をきれいにするボランティア活動											
事務業務 トレーニング	事務補助 ・ パソコン入力											
	文書発送のためのあて名書き ・ 封入作業											
生活訓練	自立を目指した生活スキルトレーニング（洗濯 清掃 調理）											

地域をフィールドに はたらく・たのしむ・まなぶ



つばめの杜復興公営住宅
(グループホーム計画中)



(株) GRAイテゴワールド
農福連携 (施設外就労)



山元防災・交流センター
(ひだまりホール)
「山元こぐまサロン」
ユニバーサル学習



つばめの杜中央公園
清掃 (町委託業務)



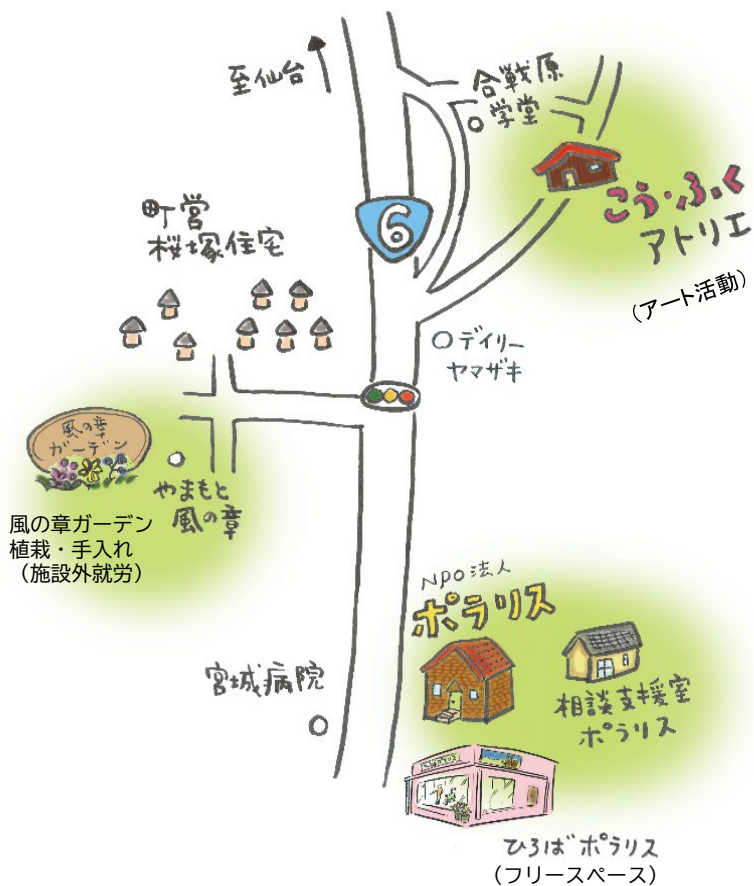
フレスコ山下駅前店
エコ活動 (施設外就労)

福祉×教育

障害者のエンパワメント × 地域づくり



屋台ポラリス
(動くコミュニティ)



(福) 静和会 みやま荘
福福連携 (施設外就労)



新地エネルギーセンター
(施設外就労)

地域の担い手となって はたらく



これから仕事に出発！



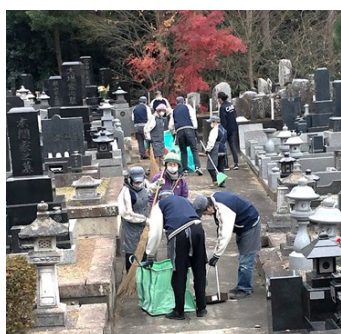
町の公園トイレ
の掃除



「TSUNAMIハーレー展示館」
のお掃除



GRAでいちごの箱折作業



巨理町の称名寺の落ち葉掃除



ハッピーエコプラザの資源物回収



壁画「happyやまのもと」前の
草取りなどのピカピカ活動



GRAの会議室のお掃除



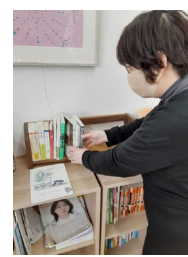
サロンのアンケート集計



JR山下駅の待合室の窓ふき



ひろばで接客係



スローバ文庫係

JR山下駅ピカピカ大作戦

地域をきれいにする取り組み



2022年10月2日 河北新報 朝刊

アートは地域とつながる接着剤 その1 アートのお仕事



麺とご飯の店「見晴」にレンタル展示



オリジナルグッズ制作



やまと屋（静海波）様の
会員誌に掲載して
いただきました



やまと屋（静海波）
スタッフの
似顔絵（名刺用）



三島さんに
シルクスクリーンの
ご指導をいただきました



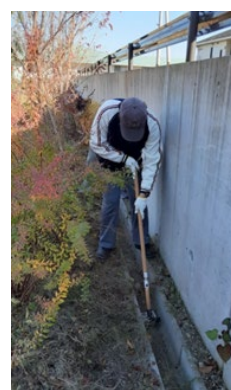
ししゅう作品

風の章ガーデン

サービス付き高齢者住宅のお庭のハーブや樹木の手入れ



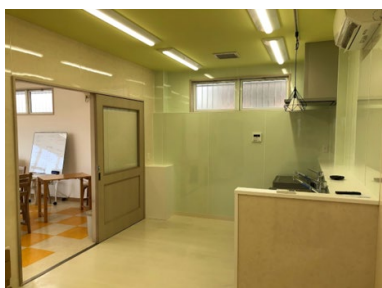
風の章ガーデンのハーブ＆樹木の手入れ



「ひろばポラリス」整備

みんなの学び場「ひろばポラリス」整備事業

公益財団法人
(助成) あすなろ福祉財団



あすなろ福祉財団にご支援をいただき、調理スペースを整備することができました。



ひろばポラリスで使う家具をメンバーと一緒に組み立てることから始めました。



ポラリス隣の空き店舗をお借りし、地域づくりのプラットフォーム「ひろばポラリス」の整備が始まりました。

4月	(あすなろ福祉財団助成+自己資金) ・コンサルタント(岩崎岳さん)委託 ・改修工事委託 ・調理実習室内装工事 ・エアコン移設・電気工事 ・IHクッキングヒーター設置・電気工事 ・居室内既存全壁面キッチンパネル貼 ・備品(IHクッキングヒーター・レンジフード)設置
6月	(自己資金) ・調理実習室(食事管理と調理指導)で活動するために必要な器具・備品を整備する。 ・多目的室(障害者の学びや余暇活動の場／接客訓練・地域交流／個別面談／コミュニティカフェ)で活動するために必要な備品を整備する。
7月～	・「ひろばポラリス」看板設置

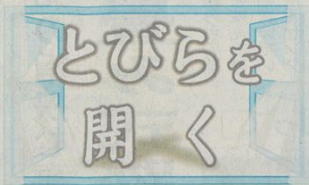
改修工事から看板設置まで、岩崎さんと藤装建(株)にご協力をいただきました。

◎新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、活動できるスペースを増やす事ができました。

◎ガラス越しに外から見えるフリースペースで障害のある人もない人もゆったりとリフレッシュできるようになりました。

福島県と接する宮城県山元町は、東日本大震災の津波で約4割が浸水して600人以上が犠牲となり、人口流出が加速しました。震災発生時、町の障害者施設で働いていた田口ひろみさんは、災害時の障害者福祉の難しさを痛感したといいます。田口さんは、障害のある人が生きる力を取り戻して自分らしく生活し、地域の一員として町の復興にも参加することで、住民皆が真に支え合えるまちづくりにつなげようと、特定非営利活動法人ポラリスを同町で設立。ことし7年目を迎えました。

代表理事の田口さんを含めスタッフは8人で、障害者約20人が通っています。障害者の就労・相談支援事業のほか、地域住民と活動する場づくりに力を入れています。町の社会教育施設を活用し、防災や地域共生社会をテーマにした生涯学習プログラムを実施。田口さんは「障害者、地域住



特定非営利活動法人ポラリス



「ひろばポラリス」でのオープン記念イベント＝9月20日

民 行政職員といった多様な人が集い、触れ合う機会がほとんどなかった。参加者の反応から相互理解につながっていると実感する。ポラリスに通う利用者の多くは口頭、絵や刺しゅうなどそれぞれの得意分野で作品を作り、アート活動が障害者と地域をつなぐ接着剤のような役割も果たしています。2016年にはJR常磐線の内陸移設で新しくなった山下駅周辺で壁画を制作。場所を提供した地元スーパーをはじめ学校、い。人がつながり、支え合

町復興に障害者活躍

他団体などの協力の下、地域住民も参加して完成させました。町には、特に休日でも気軽に利用し、相談もできる場所が少ないのが現状です。そこでポラリスはこ

う場になれたら」と田口さん。利用者の一人、大友浩一郎さんのイラスト展がオープンイベントとして今月上旬まで開かれ、多くの人が足を運びました。大友さんがクイズや即興イラストを交え動物の豆知識を楽しく解説するトークイベントもあり、会場は大いに盛り上がりしました。

新たなつながりづくりの場として、お茶を飲みながら語り合える動くコミュニケーションスペース「屋台ポラリス」も今月スタート。地域に積極的に出向き、活動しています。障害のある人もない人も笑顔になれる山元町の地域づくりは、着実に進んでいます。

参考情報
特定非営利活動法人ポラリス
住 所 宮城県山元町高瀬字合戦原72の64
ホーム 「特定非営利活動法人ポラリス」で検索
ページ
電 話 0223(36)7410

2022年10月24日 河北新報 夕刊



やまと広報からの取材を受けました



メンバーのアート展示コーナー



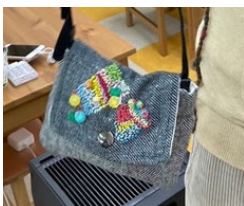
自分の絵を見ていただきながら楽しく交流できました。



出版物のイラストを担当



ひろばポラリスにアート作品を展示しています



アート作品の販売

障害のある人となない人が共に取り組む地域づくりプロジェクト

2022年7月～12月

ひろばポラリスと屋台ポラリスを活用して、各種ワークショップや交流活動、コミュニティカフェを企画開催しました。延べ1,108名が参加しました。



ひろばポラリス(参加者のべ460名)



アート展「百獣画録」展開催
8/17～10/10 (来場者のべ250名)



シルクスクリーンで
アートな作品作り
(参加者のべ24名)



園芸講師の向井さんと
ひろばポラリスの
花壇用のひな壇づくり



ひろば花壇づくりワークショップ(参加者のべ41名)

屋台ポラリス(参加者のべ294人)

参加者の感想

「ひろばでは、いろんなお客さんとお話をした。お客さんとの距離が近くなり、しっかり挨拶できるような気がする。大友さんのアート展ではお客さんが「(この動物は)どんななき声ですか?」と聞いていたのを覚えている。屋台ポラリスの時は、お客さんにお茶を出したり絵を描いて見せたりした。お客さんから「いいね!」と言われると嬉しいし、また描きたくなる。今度はうさぎさんを描きたい。」
(門間美佐子さん)



フレスコ山下駅前壁画前 10/4 10/19 11/30



風の草ガーデン 11/18



徳本寺 12/3



つばめの杜西地区集会所 12/18

「土曜ひろばポラリス」による休日の居場所&相談の場づくり

2022年8月～2023年3月

 居場所を失った人への
緊急活動応援助成

休日の居場所や相談できる「土曜ひろばポラリス」をスタートしました。

期間中27回開催し、居場所として、102人（延べ425人）が利用し、24人（延べ133人）のボランティア、20人（延べ61人）の専門スタッフのご協力をいただきました。



コミュニティナースのワークショップ@ひろばポラリス



お昼ご飯を作ろう@ひろばポラリス調理室



将棋

土曜 広場ポラリスの感想

初めて参加する人も多かった
おしゃべりも楽しかった
おしゃべりも楽しかった
おしゃべりも楽しかった
おしゃべりも楽しかった
おしゃべりも楽しかった
おしゃべりも楽しかった
おしゃべりも楽しかった
おしゃべりも楽しかった
おしゃべりも楽しかった



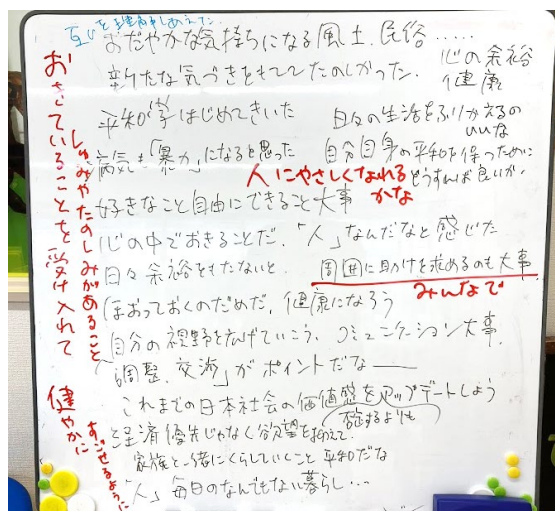
洗顔&メイクのワークショップ



新春書初め@屋台ポラリス



対話と学びの場「平和学」@ひろばポラリス



休日に利用できる居場所や相談できる場所づくりの実践内容から見たニーズについて行政に共有し、2023年度から「ひろばポラリス」は、町の障害者地域活動支援センターの指定を受け、山元町のオフィシャルな地域活動支援の場となりました。

山元町障害者地域生活支援体制整備事業

2022年5月～2023年3月

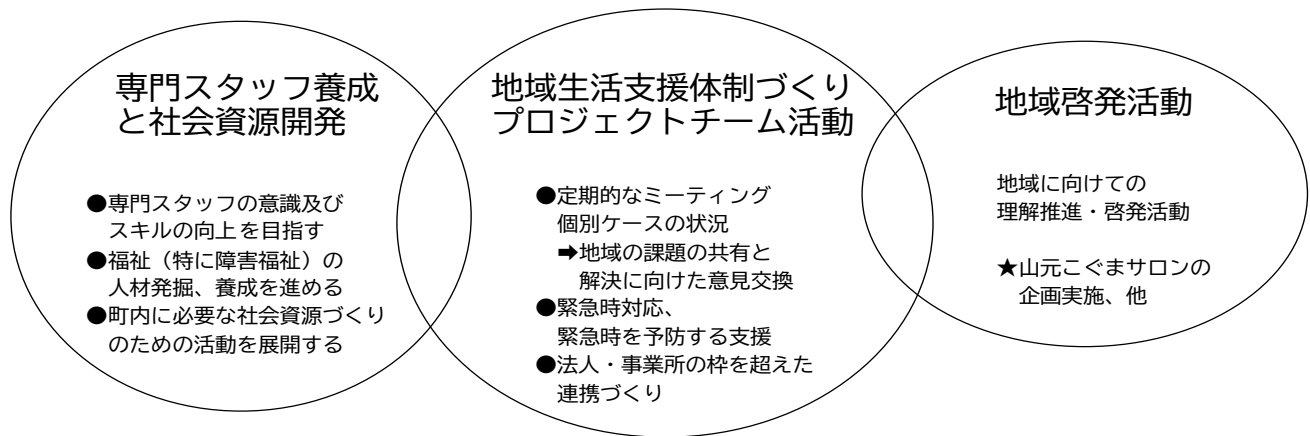
【相談支援室ポラリス】

事業開始年月日 平成30年12月1日
(指定特定相談・指定障害児相談支援事業)

従業員数 管理者・相談支援専門員1名
(常勤専従：精神保健福祉士)

業務の目的

本事業は、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」に備え、障害者等の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築するために、専門的人材の養成、体験利用の場、緊急時の支援体制を状況に応じた創意工夫により面的に整備することを目的とする。



山元こぐまサロン 文部科学省の実践研究との連携



アドバイザーでもある森明人先生（東北福祉大学）に地域づくりをテーマにした学びの場をつくっていただきました



「防災」では町のハザードマップを見ながら一緒に考え合いました。



コミュニティワーカー（ポラリス）&相談支援専門員（やすらぎ）の楽しいアイスブレイクの場面



親力フェ（全5回）
保護者のピアサポートの場

権利擁護・差別解消をテーマにしたユニバーサルな学びの場を4回開催しました。

- 地域共生社会（東北福祉大学森明人先生）
- 災害時対応（山元町総務課）
- 虐待について考えよう（基幹センター）
- 「きょうだい」について（映画上映）

「山元こぐまサロン」を活用した障害者の学びの場共創プロジェクト2

2022年6月～2023年3月

文部科学省 令和4年度 学校卒業後における障害者の学びの支援に 関する実践研究事業
(1) 地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究
(イ) 地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進



本事業を通じた目標

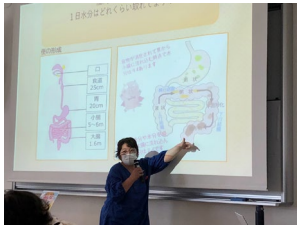
前年度実践の成果と課題を踏まえ、又、障害者福祉の方向性や、地域福祉の現状も考慮した、山元町らしさを活かした障害者の生涯学習の場を以下のことを更に成熟させる内容で取り組んだ。

- ユニバーサルな学びの場に558名、スローバ読書会に238名が参加し、楽しく学び合った。
- 当事者が主体的に学んだ
 - ①のべ94名が企画に参加 できた
 - ②のべ245名がサロン運営(会場準備、片付け、受付)に参加できた
 - ③のべ178名がプログラムで発言できた
- いつでも学べる環境づくりに取り組んだ
 - ① 中学生～80代まで参加できた。
 - ②講義内容を工夫し、いつでも読書を楽しめる場「スローバ文庫」を設置できた。
 - ③新たな学びの場として「おもだか館」「ひろばポラリス」「徳本寺」を使うことができた。
- 新たに25名の方が共感者・協力者となった。

アンケートの集計などは色んな色んな意見があり色んな意見が残りませんが毎月毎月のテーマは決まっていますので毎月毎月テーマが楽しみでした

今世界でロシア軍が、ウクライナを大砲やミサイルで攻撃して、ビルやウクライナの人々が亡くなっているのをテレビで見て、戦争はお互いに傷や物が壊されて、いいことではないので、止めるべきです。何か(原因)でロシア軍がウクライナを武器を使って攻撃しているのか分かりません。

メンバーのいよいよお祭りやこんな楽しいイベントがあるのと知らなかった。来年度のこぐまサロンには絶対参加して楽しみながら様々なことを学びたいです。また来年度の報告会は司会になるが発表する側になるかはわかりませんが今年度より成長してまた参加したいです。



コミュニティナース
「うんこの保健室」



相談支援スタッフが
グループワークに参加



ひだまりホール館長
防災センターたんけん



リフレッシュコーナーでは
ヨガにトライ



町の防災担当職員
「非常事態の食べ物」



当事者・保護者・民生委員
が参加してグループワーク



お寺の住職による
仏教のおはなし



住職バンドの演奏
「風になりたい」



「僕とオトウト」上映会
山元支援学校も参加協力

山元こぐまサロン 名場面集



「日本でも戦争の歴史」
宮城白萩の会と打合せ



戦時中の服装で伝えた
「平和の大切さ」



障害者と高齢者の専門スタッフ
「虐待を防ぐ町って？」



東京零環ライオンと
共に学び合う



連携協議会で
成果と課題のまとめ



スローバ読書会
@ひろばポラリス



スローバックスから
定期便 スローバ文庫



クリスマス会はみんなで
「かさじぞう」の朗読



成果発表会で司会にチャレンジ

山元こぐまサロン特別編

「お茶室のことを知って、みんなに話せるようになろう！」

町指定文化財「茶室」の歴史を学ぶ

「茶室」の魅力を伝えるイベント

12月3日、江戸時代に坂元を治めた大條家のゆかりの「茶室」を多くの方に知ってもらおうと、その魅力を伝えるイベントが開催されました。有志でつくる「山元いっ茶組」とNPO法人ボラリスが主催したもので、会場となった徳本寺には町内外から63人が集まりました。

イベントでは、大條家と伊達家との関係や茶室が仙台から移築された経緯などを、電子紙芝居や寸劇によって分かりやすく紹介。クイズ大会もあり、参加者は楽しみながら「茶室」について理解を深めていました。

山元いっ茶組発起人の一人である徳本寺の早坂文明住職(下郷区)は「茶室の再建が決定し、修復に向けて動き始めたので、多くの町民の皆さんに茶室について知ってもらい、活用について考えてもらおうきっかけになれば」と思っています。今後もこのような企画を考えていきます」と話しました。



▲養育城主大條孫三郎道徳に扮する俳優の小濱昭博さん



▲メモを取りながら真剣に話を聞く参加者

「広報やまもと」に掲載していただきました

山元町の茶室って、いったいどんなお茶室なの？
 私たちのお茶室を知ろう。

2024年度から、山元町地区にあるお茶室が修復されて使えるようになり、お茶室のことを知って、皆に話せるようになろう！

プログラム①上映会
 電子紙芝居
 「大條家ゆかりの御茶室物語」

プログラム②寸劇
 大條お殿様もやってくる？！
 出演：舞台俳優の小濱昭博さん、他

舞台でお茶も飲めるよ！

プログラム③茶室クイズ大会
 商品が当たるよ！

開催日時：12月3日(土) 13:30開始(開場13:00)
 会場：徳本寺(宮城県白根郡山元町坂元寺前13)

主 催：NPO法人ボラリス
 この企画は山元こぐまサロン特別編として開催します。

河北新報

2022年(令和4年)11月26日(土曜日) みやぎ 1.6版 (1

2024年度に再び内部が公開される予定の町指定文化財「茶室」＝山元町坂元館下



山元町坂元地区にあり、仙台藩に仕えた大條家ゆかりの町指定文化財「茶室」の価値を発信するイベント「お茶室のことを知って、皆に話せるようになろう！」が12月3日、坂元地区の徳本寺本堂で開かれる。町教委が本年度、東日本大震災で被災し立ち入り禁止が続く茶室の復旧事業に着手したのを踏まえ、同町

震災で被災の山元町文化財復旧着手 大條家茶室魅力知って

のNPO法人ボラリスと、町民ら有志でつくる「山元いっ茶組」が企画した。

町史によると、茶室は江戸時代末期、現在の坂元地区を治めていた大條家15代当主の道直が、仙台藩12代藩主伊達斉邦から贈られたとされる。仙台城から城下の大條家屋敷に移設後、1932年に現在地の養育城主三の丸跡に移された。町教委は2023年度に工事を終え、24年度に公開予定。

イベントでは、いっ茶組が制作した茶室の概要や歴史を紹介する電子紙芝居を上映する。仙台市出身の舞台俳優小濱昭博さんが大條道直に扮するなどして、紙芝居の内容を分かりやすく補完する寸劇の披露もある。

いっ茶組発起人の徳本寺の早坂文明住職(下郷区)は「お茶室の存在を広く知ってもらうとともに、公開再開後にどう活用できるか、展望を考える機会になる」と来場を呼びかける。定員80人。無料。午後1時半～3時半ごろ。連絡先はボラリス0223(36)7410。

来月3日イベント 紙芝居で歴史紹介

「サロンを振り返って」 ボラリス「こう・ふく」アトリエの会

知って役立つ防災のいし
防災のまちづくりについて、はい勉強を
したり、大雨のハザードマップの事に関する事も免
れませんでした。
成果報告会の踊りのワークショップについて、
発表する側としては緊張しました



ぼくとオトリの上映会がとっても
よかった。いちばんかんそうはお兄ちゃん
とやさしい人がとってもよかった。

今世界でロシア軍が、ウクライナを大
砲やミサイルで攻撃して、ビルや
ウクライナの人々が亡くなっているの
をテレビで見て、戦争はお互い
に傷や物が壊されて、いいことが
ないので、止めるべきです。何
が原因でロシア軍がウクライ
ナを兵器を使って攻撃してい
るのか分かりません。

スローバ文庫反響書会
とても楽しかったです。

老人や子供に虐待を加えることは
人権を無視しているので、いけ
ません。特に、子供に力で虐待
することは、教育上許されません。
老人にも力で加えたりすることは
いけません。老人や子供は体力が
なくて、弱い体でいます。
老人を可愛いい目で、見守りま
しょう。

アンケートの集計などはほかの
色々ないけんがあり、色々と勉強になりました。
私はあまりよく残らないようなので、
ですが毎月毎月のテーマはよまえているので、
毎回テーマが楽しみでした。

私は1月にボラリスの活動に
参加したばかりで、今年度のこぐま
サロンには残念ながら参加でき
ませんでした。
ですが、成果報告会で後半部分
の司会に携わっていただき、
メンバーのいきいきしたお姿や
こんな楽しそうなイベントがある
と知らなかったの、来年度の
こぐまサロンには絶対参加して
楽しみながら様々なことを学び
たいです。
また来年度の報告会は司会に
なるか発表する側になるかは
わかりませんが今年度より
成長してまた参加したいです。

障がいのある人と地域の人と共に学ぶ

「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰

障がい者支援と地域づくりに取り組む NPO 法人ボラリスが、令和4年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。

この表彰は、障がい者の生涯を通じた多様な学習を支える活動を行う優れた個人・団体を表彰するもので、同法人が実施する、障がいの有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指した「やまもとこぐまサロンの」取り組みが高く評価されました。

表彰式は12月6日にオンラインで行われ、代表の田口ひろみさんは「障がいのある人もない人も共に学ぶ」ことで、理解し、支え合える機会になると実感しています。今後も、皆さんと一緒に、しなやかで優しい地域づくりに取り組みます」と話しました。



▲活動を伝えるパネルの前で、表彰状を手にする田口代表(左)とスタッフの引地奈美さん

記事：広報やまもと

専門家招聘による福祉サービスのリスク管理体制整備と強化

2022年4月～2023年3月

福祉サービスを担い続けるためには、リスク管理の体制を整備することが重要な時代になっています。

当団体のような小規模な

福祉サービス事業所は、自分達だけでこれらを整備していくのはとても困難と感じこの基金の応援をいただいて、外部の専門家2名を招聘し、当団体の実情に合ったリスク管理体制の整備と強化に取り組みました。

日本NPOセンター



感染症対策

- コロナ禍のなか、現場のなかで生まれる疑問をひとつずつ出し合い確認し合った。実務的な部分についても確認。
- 器具や道具を用いて実践し、興味を持ちながら研修した。
- 防護服など初めて目にする道具類の使い方を学んだ。

外部講師が研修を担当することで、事業所のなかに風穴が通り、新鮮な気持ちで受講することができた。

災害対応

【災害】

- 災害事例を挙げながら、トイレや食事はどうするか？災害時に便利に使えるアプリはあるか？など確認し合った。
- 東日本大震災のときのそれぞれの経験を振り返った。
- 政府のガイドラインに沿った説明をベースに「地域での助け合い」を加えた。

【サイバーセキュリティ】

- スタッフ教育は「組織の最大の課題」であることを確認。

個々人の防災意識が高まった。

ITに関する課題について大きなものから細かなものまで認識することができた。

虐待防止

- 講師やスタッフが顔を合わせ、講話や実践を交えた研修
- 現場スタッフを対象とした虐待防止の勉強会を開催
- 地域でケアする人・される人が共に学び合う場を開催

障害当事者にとってもグループワーク等を通して虐待について学ぶ機会をもつことができた。

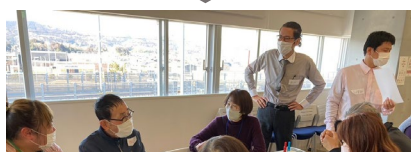
ポラリスの本プロジェクト担当者と目指すリスク管理に関わる各種研修の形をいろいろと検討し整備を進めました。ポラリスの目指す地域づくりの意義からも、ポラリスのスタッフのみならず、地域内関係機関、障害当事者らの知識やスキルの向上を図ることができたことが、成果であると思います。また、このような学びの機会は、今後も継続していくことが重要であり、今回のリスク管理やBCPについては、作って終わりではありません。常に更新し続けることが前提です。そのことをスタッフがしっかりと意識し、組織内で活用できるような働きかけを、事業が終了してからも継続していきたいと感じています。このような取り組みを繰り返していくことで、いずれ講師である私がメインで動かなくても、組織内で自律して回していくことができるようになると思います。そこまで組織基盤がしっかりとしてくると、きっと今回の経験を、他のNPOや地域内関係機関に向け、発信していけるようになるのではないかと思います。

業務継続体制強化

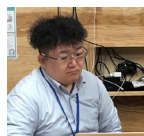
まだ形になっていない「業務継続計画」「備蓄品リスト」の作成の重要性を共通理解した。

ポラリスは、通所者を要するNPOであるため、とりわけ個人情報保護には力を入れる必要があると感じておりました。その中で、今回の取り組みは非常に有意義なものでありました。メインスタッフの真摯な取り組み、講習会後の質問の量も多く、参加スタッフの興味、必要性和さらに深い知識への探求も感じることができました。

当然のことながら、情報セキュリティに関しては非常に深く広く、環境によって様々なケースがございますので、今回の取り組みで十分ということはありません。よって、さらに充実した研修や回数の増加が必要であると感じました。その実現には専門スタッフを配置できるような国や県の更なるサポートが期待されます。



阿部和宏さん



田所信幸さん

特急ひたちで行こう！ハワイアンズ&アクアマリンへのたび

10月27日～10月28日

新型コロナウイルス感染予防のために、不要な外出禁止、イベント開催の自粛などリフレッシュする機会が極めて少なくなってしまった障害者とその家族、支援スタッフ、ボランティアなどが共にリフレッシュしながら、生きる力を蓄えるためのイベントについてその費用の支援をいただきました。メンバーへの希望調査をもとに、電車を使って水族館見学と宿泊体験を兼ねた移動研修を行いました。

日本NPOセンター 東日本大震災ひまわり助成プログラム



特急ひたちでGO!



ポリネシアン・サンライトカーニバルは、昼と夜と2回見ました！最高でした！

♡特急電車で景色を楽しんだり、ハワイの気分を味わったり、いろんな魚たちをみて大いにリフレッシュすることができました。

♡リゾートホテルで、仲間と一緒に温泉を楽しんだり、宿泊することができました。



ろばのジャムさんとの交流 & スローバックスでの読書会

7月28日



お 客 さ ま



ベトナムの社会的企業
「Tohe(トーヘ)」の皆さんと
アトリエで交流



山元町議会議員の皆さんが
ひろばボラリスを視察



サントリー&日本フィランソピー
協会みなさんに壁画を紹介



でらボラ名古屋のみなさんが
ひろばボラリスでアート展を見学



南相馬市の障害者就労支援部会
の皆さんにボラリスの活動紹介



丸森町社協&まなびの森代表と
子どもたちのアートWSの打合せ



GoodJob Travel MIYAGI参加者に山元町を案内
ひろばボラリスではGRAMスーで「乾杯」!



壁画「happyやまのもと」のアートプロデュースをしてくださ
った福井恵子さんとAAJ代表柴崎さんが来所



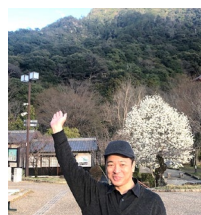
視 察 研 修



訓子府町の町長や保健福祉&生涯学習の専門スタッフの皆さんと情報交換



アーツ千代田のAAJ東京事務局



岐阜市 相談支援事業所「雨あがり」太田代表



先進的な社会教育施設見学&在宅医療「かがやきロッジ」見学



福岡市 maru訪問



弟子丸先生と再会



たんぽぽの家播磨理事長の文化功労賞受賞記念パーティー



活動を紹介しまし

た

日本社会教育学会 2022年度六月集会

プロジェクト研究
「障害をめぐる社会教育・生涯学習」

インクルーシブな地域を
つくる実践に内在する学び

2022年6月4日(土)
Zoomによるオンライン開催

事例報告3:「障害者施設が中心になって
インクルーシブな地域づくりに
挑戦している実践」

超福祉の学校2022@SHIBUYA

～障害の有無を飛び超えて、つながる学び舎～



2022年11月5日(土)
渋谷ヒカリエ
シンポジウム:「共に生きる?共に学ぶ?
～共に生きるための学びをどうつくるか」

住友生命福祉文化財団 Presents

ケアする人の ケアセミナー

in 岐阜

「ケアリング・ソサエティ」

～人が人として生きられる社会を求めて～

2023年3月19日(日)
岐阜市文化産業交流センター
「じゅうろくプラザ」
分科会① テーマ:「回復するいのち」



GoodJob!
Travel

FUKUSHIMA
MIYAGI
2022

震災以後の創造的な福祉とまちづくりに出会う旅

GoodJob! Travel とは?

全国各地で実践される、あたらしい生き方、はたらき方に
挑戦する福祉の現場を訪れ、そこに開く地域や人の魅力
を丸ごと体験するツアーです。

障害のある人とつくる新しい働き方に関心のある方、
ものづくりやアートに興味のある方、
多様な人が豊かに生きる地域づくりについて
学びたい方、その他、この旅を通じて学びを
深めたい幅広い方のご参加をお待ちしています。

Good Job!



ボラリス(宮城・山元町)の
敦さんと猫

ツアースケジュール: 11月26日(土)

※バスは、貸切バスを利用します。

10:10 集合

JR 仙台駅 = 11:25 JR 山下駅(防災センター) = 山元町役場(車窓より)
12:15 和風レストラン 田園(昼食) = 13:30 山元町震災機構 中浜小学校 =
14:45 GRA 先端農場「ICHIGO WORLD」 = 15:45~17:15 NPO 法人ボラリス = 18:15 ホテル
18:45 TFU Cafeteria Olive(夕食) = ホテル(OF HOTEL)

ニッポン放送

『おしゃべりラボ しあわせ Social Design』

2022年2月4日(土曜日) 午前7時40分~8時放送
パーソナリティ: 中村陽一(社会デザイン学会 会長)
パートナー: 磯崎江子(プロデューサー)
ゲスト: 田口ひろみさん(NPO法人「ボラリス」代表理事)



2023年2月5日(日)
奈良県文化会館
トークショー:「障害のある人と
取り組んできた東日本大震災」



グループホームの準備をすすめています

ポラリスが目指す グループホーム

- ◆現在一人暮らしをしているが高齢となり、一人暮らしに不安が強かったり、判断力が低下し、常時見守り・助言が必要になっている方
- ◆親の認知症や子供の知的障害＋高齢化・重度化などで、助け合って暮らすのが難しくなりつつある方
- ◆親が元気なうちに自立を目指し、安心して地域で暮らしていきたい方



地域の皆さんと交流を重ねながら
障害のある人たちの自立した生活を
応援する地域づくりを目指しています。

どんなところで暮らす？

- 交通の便の良い場所で
通院・買い物・余暇活動に便利なところ
- 地域の皆さんと助け合いながら
仲良く暮らせるところ
- 家賃がやすくて、年金生活でもなんとか
自立できるところ



区長さんとグループホーム
についての意見交換の機会
を持つことができました。



地区の文化祭で
ポラリスメンバーの作品も
展示させていただきました。

公営住宅を活用したグループホーム

公営住宅法改正（H8～）で、障害者が地域での自立した生活を営む場を提供する方策として活用できるようになりました。



地区の文化祭に、グループホームを希望する人やその家族と参加させていただき、皆さんと交流することができました。屋台ポラリスでコーヒーを皆さんに飲んでいただくことができました。

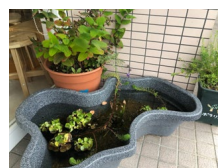
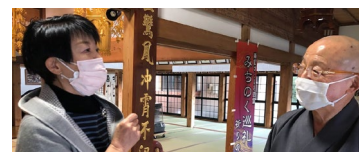


山元町建設課の職員さんにいろいろと現状を相談させていただいております。
2023年3月には、実際に住宅を見学させていただきました。

ご支援をありがとうございました

朝日山荘敵院 稱名寺 (株)朝日新聞社 (医)姉齒松風会 アベカンパニー (同)あまね舎
 (福)ありのまま舎 (株)アルソア慧央グループ 石田秀男税理士事務所 (福)石巻祥心会 (株)岩見組
 映画「僕とオトウト」上映委員会 (特非)エイブル・アート・ジャパン (株)エフエムわたり エルフの森
 遠藤電気工事 お弁当 きく邑 (有)大友葬儀社 ガーデン工房 結-YUI- (医)かがやき 合戦原区
 (特非)奏海の杜 (株)河北新報社 木村工事(株) 来栖珈琲 「ケアする人のケアセミナーin岐阜実行委員会
 訓子府町 こげら合唱団 (特非)子育てひろば夢ふうせん 坂元おけさ保存会 (株)佐善工務店
 サントリーホールディングス(株) (株)GRA (株)J・オイルミルズ 旬魚酒房 金八
 新地スマートエナジー(株) 新地町 (株)菅原工務店 (有)鈴や (一社)スマイルファクトリー
 (財)住友生命福祉文化財団 (福)静和会 (株)仙南測量設計 せんだい・みやぎNPOセンター
 仙南ベニヤ(株) 相談室 あめあがり 曹洞宗 光明山 徳本寺 曹洞宗 龍頭山 鳳仙寺 (医)多布施クリニック
 (財)たんぼぼの家 (特非)地星社 つばめの杜西区町内会 でらボラNAGOYA ドイツ語婦人会
 東京零環ライオンズクラブ (学)東北福祉大学 東北放送(株) 東北労働金庫 戸花山つつじ・桜
 サポータークラブ どうごえサークル 奈良たんぼぼの会 (株)ナルケ自動車 (特非)虹色たんぼぼ
 ニッポン放送 (特非)日本NPOセンター 日本社会教育学会 (公社)日本フィランソロビー協会
 (有)ぬか茂菓子店 (株)福祉新聞社 花釜音頭保存会 花の店しなほり 東日本旅客鉄道
 (同)ひなた (株)ひまわりケアシステム PMJ歯科 (特非)100年福祉会 片山工房 藤装建(株)
 フレスコ(株) 社会保険労務法人プロゲート (福)房香会 北海道立生涯学習推進センター
 ポラリス「こう・ふく」アトリエの会 ホルモン貴 (株)マックス設計 (医)松村クリニック (特非)まる
 宮城県立山元支援学校 (一社)まちづくりやまもと (株)ミックスゾーン 宮城県教育委員会
 みやぎ心のケアセンター 宮城白萩の会 (特非)みやぎセルフ協働受注センター (株)宮城テレビ放送
 (特非)麦の会 こっぺ (株)メモリアルアイ メンタルケア林クリニック 麺とごはんの店 見晴
 (有)森久設備 Morino 花 cco 文部科学省 八重垣神社 森の中の小さな古本屋「スローバックス」
 (有)安田工務店 やまがたアートサポートセンターららら (株)山元電設 (有)やまと屋 山元いっ茶組
 山元町 山元町教育委員会 山元町傾聴ボランティアの会 (福)山元町社会福祉協議会
 山元町地域包括支援センター 山元町文化協会 山元町民生児童委員協議会 HUMORABO
 (株)夢デザイン総合研究所 ライオン運輸(株) (株)UNA ラボラトラリーズ 霊友会「ありがとうこだま基金」
 (福)わたぼうしの会 亘理警察署

ほか たくさんの方々から、あたたかいご支援とご協力をいただきました。 本当にありがとうございました。



1. 会議等の業務

(1) 第7回通常総会の開催

日時：2022年6月11日（土）10：00～12：00

- 2021年度事業報告（案）・活動計算書（案）の承認
- 2022年度事業計画（案）・活動予算書（案）の報告

(2) 理事会の開催

日時：2022年6月7日（火）

- 2021年度事業報告（案）・活動計算書（案）の承認
- 2022年度事業計画（案）・活動予算書（案）の承認

日時：2023年1月10日（火）

- 新たな職員募集についての承認

日時：2023年2月21日（火）

- 新たな職員採用（常勤2・パート1）採用についての承認

(3) 監査

日時：2022年6月8日（水）

- 2021年度事業報告（案）の監査、承認
- 2022年度活動計算書、貸借対照表、財産目録の監査、承認

2. 会員に対する業務

- 正会員・一般会員の入会、継続、休会に伴う業務
- 2021年度事業報告・活動計算書及び2022年度事業計画・活動予算書の送付
- 事業の案内や報告の資料の送付

3. 経理などの業務

- 資金管理として、現預金などの日常の管理状況を明確にする。
- 税務に関する業務として、源泉徴収税等の税務関連の業務を行う。
- 石田秀男税理士事務所に税務その他について業務を委託する。

4. 労務管理などの業務

- 法人に関連する人事労務管理、労働保険や社会保険関係の手続きに関する書類作成・届出、法改正などの業務について、社会保険労務士法人プロゲートに委託し、あわせて助成金に関する情報提供をお願いする。

5. 総務関連などの業務

- 業務運営に必要な届出業務を行う。
- NPO法人としての宮城県への2019年度事業報告・活動計算書を提出する。

6. 広報などの業務

- ウェブサイト、フェイスブックを活用した広報活動を行う。
- ポラリス活動報告書、その他を作成し、広報活動を行う。

[組織概要]

設立年月日	2015年5月14日
代表理事	田口 ひろみ
理 事	品堀 学 佐藤 路代
監 事	大山徳江
会員数	正会員 12名 一般会員97名、13団体（2023年3月31日現在）
住所	〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原72番地64
Tel/FAX	0223-36-7410
MAIL	koguma@polaris-yamamoto.com
WEB	https://polaris-yamamoto.com

ポラリスを応援してくださる方へ 【会員募集 & 寄付のお願い】

◎一般会員になって継続的に応援する

ポラリスでは、事業活動に継続的に賛同くださり、会費という形を通じてサポートして下さる一般会員を募集しています。

会費を納入していただいた皆様には、ポラリスの活動がわかる広報誌やお知らせ、報告、オリジナルグッズを送らせていただきます。

一般会員／年会費 1口 3,000円

◎寄付で応援する

ポラリスでは地域コミュニティの場づくりとして、様々な活動をおこなっております。それら多くの活動では、皆さまからのご支援なしでは活動を続けることができません。私たちの活動をぜひとも応援してください。

お問い合わせはこちらまで

会員、寄付に関するお問い合わせ、お申し込みにつきましては事務局までご連絡ください。

TEL/FAX	0223-36-7410
MAIL	koguma@polaris-yamamoto.com

発行 2023年6月5日
特定非営利活動法人ポラリス